

「尾道幸福論 -尾道の未来の町づくりを考えよう-」

本単元で育成する資質・能力

思考力・表現力

1 単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領第5学年及び第6学年の「C読むこと」の内容に基づき設定した。学習指導要領には、以下のように示されている。

C(1) ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんた読みすること。

カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。

(1) 単元観

本単元は、第6学年2学期の尾道の町づくりを提案する総合的な学習の時間と横断的に実施する。「より説得力のある解決方法やプレゼンテーションをするには、どうすればいいか」という課題を発見した児童は、その課題を解決するために国語科で町づくりで大切な視点とプレゼンテーションの方法を学ぶ。この活動を通して、目的をもって複数の本や資料を読み比べ、内容を的確にとらえるとともに、それらを生かして総合的な学習の時間でもより説得力のある解決方法やプレゼンテーションをする力につなげることをねらいとしている。

本教材は、益子町と三田市、海士町の事例が提示され、それらを通して、町づくりにおける大切な視点が住民主体の町づくりとバックキャストの考え方であることを知る。その後、プレゼンテーションの内容や方法が提示され、自分の郷土の町づくりにつなげられるよう示されている。これらのことから、目的に応じて文章の内容や説得の工夫をとらえるとともに、それを生かして書く力を身に付けるために適した教材である。

(2) 児童観

学力調査等に関する実態

平成28年度全国学力・学習状況調査の国語B3三(目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかんた読みができるか)の結果は、平均正答率86.8%だった。このことから、「読むこと」において、読む目的を自覚し、自分の知識や経験、考えなどと関係付けながらかんたむ力に課題があると言える。

資質・能力に関する実態

本県の「基礎・基本」定着状況調査の児童生徒質問紙を2月と6月に実施したところ、「授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。」に改善が見られた(86.5%→92.1%)。一方、自校作成の資質・能力テスト(目的に応じて必要な情報を取捨選択できるか)の結果が81.0%と課題が見られた。このことから、友達と考えを交流して自分の考えを深めることができた肯定的に評価する児童が増加している一方、実際には個の学力が十分向上したとは言い難く、必要な情報を精査・取捨選択するなど考えを深める思考力・表現力には依然として課題がある。

(3) 指導観

本単元では、主体的な読み手を育てるために、総合的な学習の時間と関連させることで、読む目的意識を明確にもたせるとともに、総合的な学習の時間を通して得た自分の知識や経験、考えなどと関係付けながらかんたむ必然性を高める。これらを通して、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたむ力を伸ばしたい。

本単元は、尾道の町づくりについて考える総合的な学習の時間と関連付け、横断的に実施する。

導入では、総合的な学習の時間で発見した課題を解決するために国語科でどのような学びを行うか、個人個人で学習計画を立てさせ、それをまとめることで、一人一人の教材文を読む目的意識を高めさせる。

情報収集や整理分析では、総合的な学習の時間で発見した課題を解決するという目的をもって、教科書教材を用いて、町づくりに大切な視点と説得の工夫であるプレゼンテーションの仕方を読み取らせる。その際、グループ学習による対話とその後の個人思考の場を積極的に取り入れ、必要な情報を精査・取捨選択するなど思考力を伸ばしたい。表現の場は児童の目的意識の基、総合的な学習の時間に移行して実施する。

(4) 単元でめざす児童の姿

- 目的意識をもって、より説得力のある解決方法やプレゼンテーションをするための方法をとらえたり自分の考えを書いたりしている。(国語への関心・意欲・態度)
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたんでいる。(読むこと)

2 単元の評価規準

	国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
評価規準 単元の	○目的をもって、学習の計画を立てたり、必要な情報を読んだり活用したりしようとしている。	○文章の構成や序論、本論、要旨を読み取り、それらを基に未来の町づくりを考えている。 ○教材文や収集した情報を基に発表に必要な内容や進行等を考えている。	○目的に応じた文章の構成について理解している。

3 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

総合的な学習の時間で発見した「聞き手を説得するプレゼンテーションをする」という課題意識をもって、国語科で町づくりに大切な視点と説得力のあるプレゼンテーションの仕方を読み取る。その後、自分の発表を見据えて情報の取捨選択をする。単元ではグループ学習を積極的に行い、友達と考えを交流し、交流後の個人思考を十分に行う。このことで、目的に応じて必要な情報を精査し取捨選択するなどの思考力・表現力を育成する。

4 指導計画（国語 全8時間）

次	学習活動	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
総合的な学習の時間で学	<ul style="list-style-type: none"> 尾道市の問題に関心をもち、課題を発見する。その後、問題解決の方法を考え、情報収集する。 収集した情報を基に尾道市の問題の解決方法をプレゼンテーションする上で自分たちの問題を発見する。(解決方法を考える上で大切な視点は何だろう。プレゼンテーションの方法はどうすればいいのだろう。) 自分たちの問題の解決方法を考える。 		
一	<p>課題の設定</p> <p>総合的な学習の時間で設定した課題を基に、単元の学習計画を立てる。(1)</p> <p>【本質的な問い】 ・町づくりに向けた解決策を考えるときに大切な視点は何だろう。 ・町づくりについて聞き手を納得させるプレゼンテーションするには、どうすればいいのだろう。 【学習課題】 より説得力のある解決方法やプレゼンテーションを考えるための方法を学ぼう。</p>	<p>目的をもって主体的に学習の計画を立てている。【関・意・態】(ノート、行動観察)</p>	
二	<p>情報の収集</p> <p>教材文を使って、解決方法を考える上で大切な視点を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章構成を理解し、序論の内容を読み取る。(1) 本論の内容を読み取る。(2) 要旨を読み取り、尾道の未来の町を考える。(2) 複数の資料を読み、情報収集する。(総合で2) <p>整理・分析</p> <p>教材文を使って、発表の内容を読み取り、自分の発表の内容を考える。(1) 本時7/8 教材文を使って、発表の進行や分担を読み取り、自分のグループの進行や分担を考える。(1)</p>	<p>文章の構成や序論の内容を適切に読み取っている。【読む】(ノート) 本論や要旨の内容を読み取り、それらを基に、未来の町づくりを考えている。【読む】(ノート)</p> <p>教材文や収集した情報を基に発表に必要な内容を考えている。【読む】(ノート) 教材文や収集した情報を基に発表の進行や分担を考えている。【読む】(ノート)</p>	<p>目的に応じて必要な情報を読んでいる。【思考力・表現力】(ノート、行動観察)</p>
総合的な学習の時間で	<p>まとめ・創造・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語で学習したことを生かして、尾道市の問題を解決するためのプレゼンテーションをまとめる。 クラスで中間発表を行い、発表内容や進行等を推敲する。 市役所の方に対して最終発表を行い、他者評価・相互評価を行う。 <p>※目的に応じて必要な情報を用いて考えを工夫して表現している。【思考力・表現力】(ノート、行動観察)</p> <p>実行 ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> 解決方法を実行し、振り返る。 		

5 本時の展開（7／8）

(1) 本時の目標

教材文に提示されている事例の説得の工夫を読み取り、それらを自分の発表内容と関連付けて考え、必要な情報を取捨選択したり考えたりする。【読む】

(2) 観点別評価規準

教材文で収集した情報と総合的な学習の時間に収集した情報を関連付けながら必要な内容を精査している。【読む】

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する児童への支援（◆）	評価規準（評価方法） 教科の指導事項（○）
<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 学習課題を設定し、方法を確認する。</p> <p>3 教材文の事例から説得の工夫を読み取り、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時までの学習内容を掲示物等で想起させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>大めあて より説得力のある解決方法を考えて、聞き手を納得させるプレゼンテーションにするには、どうすればいいのだろう。</p> <p>今日のめあて 聞き手を納得させるプレゼンテーションの仕方を調べ、自分の発表内容を考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童がどのような説得の工夫を見つけているか観察し、内容と表現の側面で整理しながら把握する。 ・ 児童の発表を内容と表現の二つの側面で整理し板書する。 ◆ 工夫が児童から出ないものについては教師から紹介する。 ◆ 書かれている事柄の理由をスライドごとに問いかけることで思考を促す。 	
<p>4 見付けた工夫を基に自分の発表と関連付けて考える。 個人→小グループ→全体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な学習の時間の発表内容で自分が収集している情報を基に、発表に向けて必要な情報を吟味させる。 ・ 情報を取捨選択したり今後必要なものを明らかにしたりさせる。 ・ 個人で考えた後、グループで考えを交流し合い、発表内容を検討する時間を設定する。 ・ 必要に応じて、児童が情報選択で迷っていること等を全体で出させ、助言し合う場面を設定する。 ・ 児童の発表を板書する際、表現と内容に分類して板書する。 ◆ 住民主体の事例を取り上げることやバックキャストの考え方などの既習事項を想起させ、思考を促す。 	<p>○ 教材文で収集した情報と総合的な学習の時間に収集した情報を関連付けながら必要な内容を精査している。【読む】（行動観察、ノート）</p>
<p>5 まとめる。</p> <p>6 振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き手を納得させるプレゼンテーションをするには、内容（バックキャストの考え方の基で住民主体になる事例を取り上げる、根拠となる数値などを示すなど）と表現（1つの事例を短く分かりやすく発表する、アンケート結果などをグラフで示すなど） ・ ①学んだこと②学習方法の善し悪し（理由）③これから総合的な学習の時間で取り組みたいことなどを書かせる。 	